

平成26年度後半に 帯広市が実施した 男女共同参画事業のご紹介

●帯広市社会参画支援講座
12/2 「セクハラ・パワハラ防止講座」
講師：女性労働協会 桂香代子さん
3/21 「パパ・ママのためのアンガーマネジメント～怒りのコントロールで変わる子育て術～」
講師：日本アンガーマネジメント協会
公認シニアファシリテーター 長縄史子さん



●女性に対する暴力をなくす運動
パネル展 (11/12～11/25)
帯広市役所市民ホール

●帯広市男女共同参画講座
11/18 「DVの理解を深める基礎講座」
講師：帯広市女性相談員



●デートDV予防講座
講師：NPOピーチハウス
しげんばる
志堅原郁子さん
11/18 (白樺学園高等学校)



第十三回 「女と男の一行詩」

入賞作品発表！

最優秀賞



「ありがとう」
言われたときの嬉しさは
男も女も変わらない

中山 瑠規さん (中学生)

普段から何気なく使っている「ありがとう」という言葉ですが、男も女も関係なく人の心を暖かくすると感じていきます。そんな思いで作りました。

優秀賞

ネクタイが 仕事を終えて
エプロンに

佐藤きららさん (高校生)

夫も主夫ができるという事に魅力を持ったので一つの詩を作りました。また詩の見た目で比べやすく伝わりやすいように「ネクタイ」と「エプロン」を選びました。

優秀賞

男女の強み 両方生かせる
社会がいい

諏訪 真由さん (高校生)

女性と男性、それぞれ持っているものや発揮できる力は違います。お互いの個性を生かし協力することで活躍できる社会になれば良いなと思います。一行詩を書きました。

「女と男の一行詩」に多数のご応募をいただきありがとうございます。ごさいました。
十勝管内在住・在勤・在学の方を対象に募集したところ1038作品のご応募をいただきました。一般投票と選考委員による審査の結果6作品が入賞しました。



入選

男女の差 なくす一歩は
意識から

寺町 咲希さん (高校生)

キッチンで 会話も弾(はず)む
パパとママ

平泉 尚登さん (一般)

女(ひと)と男(ひと)励まし
合って支えあい 作っていきこう
明るい未来

多田 伊吹さん (高校生)

今年度の「女と男の一行詩」では、特に若い世代の作品が目されました。最終的に中学生1作品、高校生4作品、一般1作品の6作品が入賞作品に選ばれました。最優秀賞には、作者の豊かな感性と率直な気持が素直に表現された中学生の作品が選ばれました。

家庭における男女の協働を描いた高校生と一般の2作品は、一行詩に描かれた情景を身近に思い浮かべることができるものでした。社会における男女平等を啓発した3作品はすべて高校生の作品でした。社会に残る男女平等・共同参画への課題をそれぞれがしっかりと認識し、若い世代の感性で優れた一行詩にまとめあげてくれました。

北海道で初めて日本女性会議が開催された2014年、その記念すべき年に中高生の活躍で「一行詩」の選考を終えることができたことは、本市の男女共同参画が世代を超えてその裾野を広げていることを感じさせるものでした。女性活躍推進や男性にとっての男女共同参画への社会的機運が高まる今日、若い世代のみならず今後は一般の方々からのさらなる応募と活躍を期待したいと思います。

「女と男の一行詩」選考委員長
岡庭 義行

(帯広大谷短期大学副学長/教授
帯広市男女共同参画推進市民会議会長)

「女と男の一行詩」とは、形式のない川柳のようなものです。女性と男性それぞれが、個性や能力を発揮していける男女共同参画社会の実現のために、日常の身近なところから「男女平等」「男女の扱い・役割の違い」などについて感じる想いを自由に表現した作品を募集しました。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

帯広市役所 男女共同参画推進課
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地
電話：0155-65-4134 FAX：0155-23-0171
電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

平成27年3月発行

●発行：帯広市 男女共同参画推進課
●企画・編集：帯広市男女共同参画推進員
清水マチ子・小野寺和子・池田 淳一
伊藤 容子・遠藤 妙子・沼田 秀実